

1. 春期大会記事

1990年度春季大会は、6月17日(日)に札幌市中央区区民センターにおいて次の通り開催された(参加者29名)。

○研究発表

曾根 敏雄(学術振興会特別研究員):大雪山の永久凍土

下川 和夫(札幌大学):南極半島の自然と人

内田 実(札幌大学)・黒沢恵美子(ソルボンヌ大学):近郊農業の崩壊—武蔵野台地

池谷 和信(北海道大学):近世におけるわが国の山地利用

沼田 武(北海学園大学・):リラ冷え—小考資料

○総会

1989年度決算報告, 1990年度予算案および事業計画が提出され, 承認された。

2. 秋期大会記事

1990年秋季大会は9月22日(土)~9月23日(日)の2日間にわたり、「大雪山の自然と観光開発」をテーマに開催された(参加者12名)。教育大学旭川分校氷見山幸夫会員のご尽力により, 旭岳温泉(旧勇駒別温泉)の北海道教育大学自然教育研究施設に宿泊し, 旭岳周辺の自然景観の観察を中心とした巡検を行った。

コースは旭岳温泉周辺—旭岳ロープウェイ—姿見の池周辺—旭岳周辺—登山道下山—旭岳温泉であった。巡検では植生や火山地形などの自然景観の観察をはじめ, 大雪山系の地形発達, 観光化に伴う自然への影響, 今後の観光開発のあり方など多方面にわたる内容について現地での討議をおこなった。とくにロープウェイの開設により多くの人々が容易に高山地域へ入ることができるようになったが, そのために環境保全の面でいくつかの問題点も生じていることが指摘された。懇親会を兼ねた事前説明会がもたれたこともきわめて有効であった。自炊による宿泊であったが, 会員相互の協力により, なんら支障がなかった。しかも晴天のうえ, 紅葉の時期と重なり, 有意義な2日間であった。最後に巡検全般のお世話をいただいた氷見山会員をはじめ, 案内いただいた下川和夫(札幌大学), 高橋伸幸(北海学園大学), 曾根敏雄(北大低温研)の会員諸氏にお礼を申し上げる。

3. 他学会, 研究会の動向

札幌自然地理・人文地理セミナー

札幌自然地理セミナー, 札幌人文地理セミナーで以下のセミナー発表が行われた。

1990年6月23日(土, 合同セミナー)

簡浦 明(北海学園大):最近のソ連極東

1990年10月12日(金, 人文地理セミナー)

J. サージェント(ロンドン大学):イギリスにおける日本企業の投資活動

1991年1月15日(火, 合同セミナー)

平井 松午(徳島大):北海道における土族移住と製藍事業

鈴木 正章(道都短大):私のテフラ研究

4. その他

○会員消息(順不同)

入会:曾根敏雄(〒060 札幌市北区北19条西8丁目 北海道大学低温科学研究所凍上学部門), 鈴木正章(〒062-11 広島市中の沢135 道都短期大学建設科土木教室 住所〒062 豊平区月寒西2条9丁目1-31 コーポにれ203号), 渡部斎(〒094 紋別市落石町7丁目1 道都大学 教養部第一教室 住所〒094 紋別市幸町3丁目2-13 大西ビル401), 山内卓(〒064 札幌市中央区南16条西6丁目 静修高等学校), 平井松午(〒770 徳島市南常三島1-1 徳島大学教養部 住所〒770 徳島市新浜町2-4-20-3101), 久保修(〒061-14 恵庭市福住2丁目9の13 恵庭小学校)

退会:今井啓子(札幌静修高校), 笹木義友(北海道開拓記念館), 板倉勝高, 内田隆(札幌厚別高校), 市原広保(小樽桜陽高校), 木内篤(幕別高校), 和田数雄(酪農学園大), 池田雅博

所属変更:奥平理(広島大学文学部・院→函館中部高校 定時制), 金森正郎(北海道教育大学札幌分校・学生→金沢大学文学部・院), 岡本次郎(北星学園大学経済学部), 黒沢恵美子(ミュンヘン大学→北海道大学教育学部 研究生), 石塚健夫(湧別高校→室蘭栄高校), 中島義郎(帯広緑陽高校退職), 今野豊(足寄高校→佐呂間高校), 笹島征士郎(札幌手稲西小学校→手稲北小学校), 高橋英明(蘭越高校→千歳北高校), 高橋守(室蘭栄高校→稚内高校), 山田豊治(根室高校退職), 広瀬降人(北海道立砂川少年自然の家)

訃報:会員和田数雄氏は1991年2月19日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。